

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和5年 3月 13日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者 (申請者)

所 属 経済学部

職 名 教授

氏 名 サーリヤ・ディ シルバ

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	国際セミナー「家族経営の中小企業 (SME) の寿命と市場での成功について」 Longevity and market success of family owned Small to Medium Sized Enterprises (SMEs)		
2.事業責任者 (申請者)	サーリヤ・ディ シルバ	3.所属・職名	経済学部・教授
4.開催期間	令和4年 12月 15日 ~ 令和4年 12月 17日		
5.申請区分	A) 学術交流協定 (大学名)      B) 共同研究      C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿 (別添) を添付	参加者数 <u>65</u> 名 内、 <u>外国人</u> 数 10 名、 <u>研究者</u> 数 8 名、 <u>学部学生</u> 数 21 名、 <u>修士以上学生</u> 数 9 名		
7.招待講師	所 属 <u>オーストラリア・クイーンズランド工科大学</u> 職 名 <u>准教授</u> 氏 名 <u>Rumintha Wickramasekera</u>		
8.支出額	金 額 <u>162,000 円</u> 【内訳】 <u>謝金</u> 60,000 円 <u>旅費</u> 77,000 円 <u>アルバイト代</u> 19,000 円 <u>消耗品費</u> 6,000 円		
9.国際研究集会の内容	①共同研究の調査 12月16日 肥前浜宿酒蔵通り (鹿島市) 他、現地視察		

12月17日 天山酒造（小城市）、古伊万里酒造（伊万里市）、馬場酒造所（鹿島市）他への聞き取り調査  
令和5年2月以降 聞き取り調査以外の佐賀県内酒蔵21ヶ所への郵送によるアンケート調査

※アンケート調査は「4. 開催期間」中に実施する予定だったが、12月は日本酒の仕込みの時期で一番忙しく、翌年2月の落ち着いた頃なら協力できるということだったため、3月に郵送・回収までの作業。

②国際セミナー「家族経営の中小企業（SME）の寿命と市場での成功について」

1.日時：令和4年12月15日（木）16：20～18：20

2.場所：佐賀大学経済学部会議室（経済学部3号館2階）、ZOOMによるオンライン

3.内容：報告1「佐賀の酒蔵経営について」 佐賀酒アンバサダー 平尾茂氏

報告2「オーストラリアのワイン産業における三世代を超えた家族企業について」

オーストラリア・クィーズランド工科大学 ルミンタ・ウィクラマセケラ准教授

質疑応答

## 10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

### 事業実施による成果

①では、佐賀県酒造組合が本共同研究に関心を持ち、佐賀県内の酒蔵21ヶ所とのコーディネートを引き受けてくれたので、順調にアンケート調査や聞き取り調査を実施することができた。

②では、佐賀の日本酒とオーストラリアのワインによる3世代以上の家族経営について、知識の共有を図ることができ、研究者や学生から質問が多くあった。

### 今後の事業の発展等

・アンケート調査や聞き取り調査をまとめる。

・本事業に関わった数名の佐賀大学の研究者がオーストラリアに行き、3世代以上続くワイン企業についての事例研究を計画する予定である。

・来年1～2月頃にオーストラリアで開催される中小企業のビジネス・フォーラムで、佐賀の蔵元による事例報告の依頼（オンライン参加）があった。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。